

「コンペティション部門」PFFアワード2012

1977年から続くコンペティション「PFFアワード」。自主映画の歴史を35年間目撃してきました。

今年は更に驚きの新世代監督たちが登場しています。平均年齢23.6歳。

そのセンスとちからを今こそスクリーンで体験してください！現在DVD化予定なしの16作品です。

*監督の年齢は応募時のものです。 *地名は出身地です。 *上映後、来場監督とのトークを予定しています。



9月19日[水]12:30~/22日[土]14:45~



『かしい狗は、吠えずに笑う』
94分/カラー

渡部亮平 (24歳 / 愛媛県)

孤独な女子高生が初めて見つけた友情。その絆の行く先は？

少女に何が起こったのか？孤独な女子高生が明かす告白。そこで語られたのは、初めて出来た親友と呼べるクラスメイトとの出会いと友情の日々、そして……。壊れやすく傷つきやすい10代少女の友情を緊張感あるタッチと確かなストーリーテリング手法で描いた衝撃のドラマ。その予想もしない絆の漂着先に息を呑む。



『Her Res ~出会いをめぐる三分間の試問3本立て~』
12分/白黒+カラー

山戸結希 (22歳 / 愛知県)

対照的な女の2人の出会いにまつわる、実験的恋愛短編集

ボーイッシュな女の子みなみと、癒し系ガールすみれの関係をモデル・ケースに考える女子同士のラブ。あの娘の心を手に入れるには？どんな出会いで、どんなシチュエーションで、どんなきっかけがあれば恋愛に発展できるの？未知の可能性を秘めた新世代女性監督の不思議な映像パワーで綴られた、ショート・ラブ・ストーリー集。



9月20日[木]18:30~/25日[火]11:45~



『Please Please Me』
65分/カラー

青石太郎 (22歳 / 東京都)

ささやかに幸せに暮らす女子大生が悪意の存在によって世界を発見

大学生・笹野さつきは、父と団地で二人暮らし。親子の関係も良好、仲の良い彼氏もいる。ある日、清掃バイトの仕事先で「事件」を目撃したことで、さつきは自身の現状に不安を覚える。半徑数メートルな世界を描く凡庸さを打ち砕き、懸命に生活を営む人間の眩い一瞬を卓越した演出で魅せざる、「日常」映画の到達点！



『水槽』
49分/カラー

加藤綾佳 (23歳 / 新潟県)

田舎町でいじめを受けている女子中学生の強さと弱さに見惚れる

田舎町に暮らす中学生、千雪。彼女は学校でいじめを受けていた。救ってくれる大人は何処にもいない。そんなある日、町の外から不思議な男がやって来た。千雪は男と出会い、少しずつ彼に魅かれていく。大人の女性へと変わる心理を巧みに捉える眼差し。小さな身体で懸命に救済を手繰り寄せようとする少女の切実な訴えが鮮烈。



9月19日[水]15:30~/23日[日]12:15~



『魅力の人間』
92分/カラー

二ノ宮隆太郎 (25歳 / 神奈川県)

工場で働く男たちの中学生男子のような日常に浮かび上がる不穏

自動販売機の修理工場で働く男たち。他者と深く関わろうとしない依田。そんな依田を嫌う高橋と同情する大島。依田に興味を持つ坂田は親しくなろうと試みるが…。凡人たちのどうしようもなさを絶妙な距離感で描く群像劇。どこか捉えどころのない男・坂田を二ノ宮監督自身が独特の存在感で演じている。



『オハヨー』
13分/カラー

佐久川満月 (23歳 / 沖縄県)

恥辱にまみれた失恋男子が疾走の果てに吐き出すものとは？!

バス停の女子高生に恋した男子は、煩悶と妄想の末、勇気をふりしぼって自作の音楽テープを差し出すも、不気味がられて撃沈。体内から彼女への思いを吐き出しながら、叫び、走る。恥辱にまみれた慟哭を絶妙なリズムで刻まれた編集とヘッポコなサウンドトラックに乗せて13分に凝縮させた、狂おしく失恋ジェットコースタームービー。



9月21日[金]12:30~/23日[日]18:15~



『リコ』
65分/カラー

弓場 絢 (23歳 / 兵庫県)

中年男との同居生活で他者と繋がるすべを学んでいく無口な女の子

ゆりこが出会う、一人の“おやじ”。唐突に始まる2人の同居生活。繰り返される炊事と食事。共食という行為が親密さを育ててゆく。親子とも、恋人とも違う不確かな関係がここにある。誰かと共に生きるとき、確かに起こる他者への想いを活写しながら、そのリアリズムを突き破り、喜劇性をも表出させる新機軸。



『あん、あん、あん』
43分/カラー

イノウエ カナ (22歳 / 京都府)

ボーイッシュな女子高生を軸に浮遊する「女」のさまざま

女子高生・肘木圭の周りには多くの性愛があった。父の不貞行為、自分を求めてくる大人たち、男装をしてみても変わらない。「わたし」の抱える女性性嫌悪、それでも逃れることが出来ないこの性(さが)と出会うため、肘木は少しだけ勇気を出してみる。魅力溢れる巧演者たちと、そこで生きる女性たちの深い洞察がここにある。



「PFFアワード2012各賞」

グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、

映画ファン賞(びあ映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)、ジェムストーン賞(日活賞)

日本映画ペンクラブ賞

*各賞とも豪華副賞

グランプリ作品は、第25回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門にて招待上映されます。

👑 表彰式&グランプリ作品上映 → 9月28日[金]16:30~



9月20日[木]12:30~/22日[土]18:00~



『極私的ランナウェイ』
76分/カラー

河合 健 (22歳 / 大阪府)

夢を忘れた青年と金髪援交娘が北へと向かうロードムービー

死んだ目をした青年と、金髪援交娘の行き当たりばったりランナウェイ。道中で遭遇するのは、児童ポルノで小銭を稼ぐカメラマン、被災地へのボランティア、危ない援交男と、日本のリアルを体現する者たちばかり。旅の果てに2人が見つけるのは、希望かそれとも虚無か。セックス・シーンの本気度、作り手の覚悟を見よ!!



『ゆれもせで』
20分/カラー

川原康臣 (31歳 / 徳島県)

震災からひと月後、大阪の男が元恋人を連れ戻しに東京に来る

2011年4月11日。東京で生きるあなたは何を感じていましたか？関西をはじめとする被災地以外のエリアで暮らすあなたは何を思っていましたか？「パーク アンド ラブ ホテル」の神農幸と本多力(ヨーロッパ企画)の共演で描く恋愛映画。放射能の不安にかられた震災直後のリアルな東京の空気の再現が、あの日の記憶を呼び覚ます。



9月21日[金]15:30~/25日[火]18:15~



『くじらのまち』
69分/カラー

鶴岡慧子 (23歳 / 長野県)

仲良し高校生男女3人組のすれ違う心の揺れを瑞々しく描く

陸での生活に適応したクジラは、なぜあえて新天地を目指すという訓練を選び、海へと還っていったのか…。家族と故郷を捨てて失踪した兄を想う、女子高生まち。高校最後の夏休み、仲良し3人組は、まちの兄を捜す旅に出る。永遠に続くかのように見えた穏やかな学生生活の終わりに、揺れる思春期の心象風景を瑞々しく描いた青春群像劇。



『あの日から村々する』
22分/カラー

加藤秀則 (20歳 / 宮城県)

原子力発電を全廃させた2021年の日本で悪夢の事故が再び!

みんなよく知っている「なめこ汁発電」はとても安全なエネルギーです。でも使用済みなめこ汁に含まれる成分には、人体をカニ化する恐れがあります…。そんな不条理によって、混乱を極める人々の生活。だがただ一人、長年住み続けた家を追われそうになる女性が、孤独な抵抗の狼煙をあげる。耳をすまし、彼女の叫びを聞け。



9月20日[木]15:30~/23日[日]15:15~



『故郷の詩』
71分/カラー

嶺 豪一 (22歳 / 熊本県)

熊本から上京した大学生の、中途半端で空回りな愛しき日々

夢はあるものの語るだけ。したいことは分かっているけど、どうすればいいか分からない。まだ何者でもないからこそ、根拠のない自信と不安がないまぜな若者の青春を、脚本・主演そして監督の3役をこなし、当事者目線でセキララに綴る俺映画、そして多分あなたの、私たちの映画。青春の落とし前をつけるには、考える前に跳べ!



『継母』
22分/カラー

工藤隆史 (22歳 / 神奈川県)

父の再婚相手の過剰な世話焼きに可奈子はなんとか対処してきたが…

母でもない女性を母と呼びながら、彼女は他人でも肉親でもない女性と、ひとつ屋根の下2人きりで暮らす。なにかが異常なのか、それともこれが正常なのか。なんでもない、でもなにかがおかしい。その境界をおぼろげに照らす薄暗い照明の元、2人の女性の生活に、時に恐怖が、時にアクションが、そして時に感動が、生まれる。



9月22日[土]11:30~/25日[火]15:00~



『stay チューン』
65分/カラー

伊藤智之 (26歳 / 千葉県)

ぱっとしない男子高校生、真の姿は深夜ラジオのスター投稿者!

イケてない男子高生は世を忍ぶ仮の姿。しかしてその正体は、深夜ラジオ番組のMVPハガキ職人! ネット全盛時代にありて敢えてラジオ! 敢えてハガキ! 高校生の分際でセックスなんて言語道断! 中2病やこじらせた青春(©みうらじゅん)なんて、精液まみれになるほどオナニーすればいいだけのこと。下ネタ上等なきみが好きだ!



『飛び火』
58分/カラー

永山正史 (28歳 / 神奈川県)

夜の山道で助けてくれたオジサンの倫理観に恐怖で震える青年

気弱で他人と対峙できない青年ヨシオは、夜の山道で遭遇した善良なオジサンの独特すぎる倫理観と行動力に驚愕。オジサンの断言口調にヨシオも観客も自らの価値判断を揺さぶられ、やがて恐怖をきたす。のどかな田舎町を舞台にしたホラー映画の形をとりながら、一転、ラストで青年の成長譚へと飛び火させる剛腕ストーリーテラー。